

株主の皆さまへ

第139期中間事業報告書

自 平成18年 4月1日  
至 平成18 年9月30日

  
エンシュウ株式会社

## TOP MESSAGE

ごあいさつ



代表取締役社長

中野茂夫

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当上半期のわが国経済は、原油・原材料の価格上昇等の懸念要素はありましたが、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加や個人消費の緩やかな増加等により、景気は回復基調で推移いたしました。

このような情勢の中で、当社グループは顧客ニーズに応え得る新製品開発や生産コスト削減を推進するとともに、国内外に積極的な販売活動を展開してまいりました。その結果、当社グループの連結売上高は、工作機械関連事業部門及び輸送機器他関連事業部門とも増加し前年を上回ることができました。また、連結利益につきましても、工作機械関連事業部門が好調に推移し増加いたしました。

以上により、連結売上高 24,214 百万円（前年同期比 7.6% 増）、連結経常利益 1,051 百万円（前年同期比 8.1% 増）、連結当期純利益 637 百万円（前年同期比 13.5% 増）の増収増益となりました。

さて、当社は平成 18 年 4 月より中期経営計画をスタートさせ、「お客様から選ばれ続ける」企業を目指すことを基本方針として、基盤固めから安定的成長に向け全社ビジネスバランスの改善・改革に取り組んでおります。また、併せて財務体質の強化も図っております。具体的には「部品（輸送機器）事業の拡大」、「工作機械事業の収益安定化」、「光関連事業の収益力向上」に取り組んでおります。

当社グループといたしましては、今後とも安定した経営基盤の確立に全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第139期の中間配当につきましては、安定的成長に向けての設備投資に資金を使わせていただきたく、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成 18 年 12 月

# BUSINESS REPORT

## 概況報告

平成18年4月1日から平成18年9月30日に至る当社第139期上半期の営業の概況をご報告申し上げます。

### 工作機械関連事業部門

当上半期の工作機械業界の受注は、国内自動車業界の需要に一服感があり、内需は横這いで推移しましたが外需は増加いたしました。

そのような中で、当社の強みであるシステム機械を柱に積極的な営業活動を展開し、国内においては自動車関連業界を中心として、また、海外においては販売子会社を核として拡販に努めてまいりました。

その結果、受注につきましては、主要顧客の自動車関連業界の設備投資に計画のずれ込みなどがあり微減となりましたが、売上高は前年を上回ることができました。また、利益につきましても売上増加、生産性向上などにより増加いたしました。

以上の結果、売上高12,032百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益776百万円（前年同期比27.0%増）となりました。



横形マシニングセンタ JE50S



立形マシニングセンタ EV450

今後につきましては、受注は堅調に推移していますが依然として納期短縮要求や価格競争は厳しく、原材料費の上昇なども懸念されます。そのような中で平成18年4月よりスタートいたしましたTPM活動をベースに、市場規模が変動する中、収益力を強化し、安定的に利益を確保できる体質を構築してまいります。特にリードタイム短縮による生産性の向上、海外調達の強化による原価低減について重点的に取り組んでまいります。



シリンダーヘッド加工ライン

シリンダーブロック加工ライン



光関連事業につきましては、光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社と連携、協業を推進してまいりました。取り分け、高出力半導体レーザー加工機につきましては、販売体制を強化し加工技術等の研究開発を進めてまいりましたが、販売促進費や研究開発費の増加により採算的には厳しい結果となりました。その他フェムト秒レーザー加工機の開発研究にも産学協同で取り組みを進めております。

今後は、有力引合も増加してまいりましたので営業力を強化し販売拡大を目指してまいります。



高出力半導体レーザー樹脂溶着システム LPJ

## 輸送機器他関連事業部門



当上半期におきましては、二輪車用エンジン部品の生産増加に加え、自動車部品の新規製品取入れ等により売上高は前年に比べ増加いたしました。利益につきましては、設備投資拡大に伴う償却費及び新規製品取入れによる初期費用等の増加等により前年を下回りました。

以上の結果、売上高 12,181 百万円（前年同期比 7.3% 増）営業利益 421 百万円（前年同期比 30.1% 減）となりました。

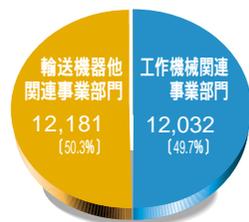
輸送機器他関連事業部門では、海外自製化による仕事量の減少や競合のグローバル化によるコスト競争の激化が予想され環境は厳しさを増しておりますが、収益性を維持しつつ売上拡大を図り、安定的に利益を確保できる体質を構築してまいります。また、営業力強化による新製品の取入れを拡大すると共に、TPM 活動を基軸に一層の工場改善を推進し原価低減に努めてまいります。さらには、品質向上に向けた仕組みづくりや世代交代のための人材育成にも取り組んでまいります。



ケース加工ライン

# SALES VOLUME

部門別売上高(百万円)



# CONSOLIDATED BALANCE SHEET

中間連結貸借対照表の要約(百万円)

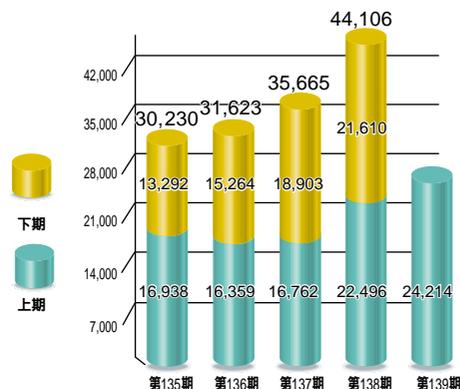
平成18年9月30日現在

資 産 の 部	
科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>28,293</b>
現金及び預金	2,438
受取手形及び売掛金	11,623
有 価 証 券	24
た な 卸 資 産	10,923
信 託 受 益 権	2,534
そ の 他	781
貸 倒 引 当 金	31
<b>固 定 資 産</b>	<b>16,166</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>14,762</b>
建物及び構築物	2,308
機械装置及び運搬具	5,191
土 地	5,835
そ の 他	1,426
<b>無形固定資産</b>	<b>25</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,378</b>
投資有価証券	157
そ の 他	1,309
貸 倒 引 当 金	88
<b>資 産 合 計</b>	<b>44,459</b>

注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 ..... 22,964 百万円

2. 保証債務 ..... 117 百万円

売上高の推移(百万円)



負 債 の 部	
科 目	金 額
<b>流 動 負 債</b>	<b>21,724</b>
支払手形及び買掛金	10,549
短 期 借 入 金	7,474
未払金、未払法人税等	2,095
そ の 他	1,604
<b>固 定 負 債</b>	<b>11,711</b>
新株予約権付社債	1,125
長 期 借 入 金	5,698
再評価に係る繰延税金負債	2,109
退職給付引当金	2,461
そ の 他	317
<b>負 債 合 計</b>	<b>33,435</b>
純 資 産 の 部	
<b>株 主 資 本</b>	<b>7,773</b>
資 本 金	4,078
資 本 剰 余 金	2,491
利 益 剰 余 金	1,230
自 己 株 式	26
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>3,242</b>
<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>8</b>
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>11,023</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>44,459</b>

# CONSOLIDATED PROFIT AND LOSS STATEMENT

## 中間連結損益計算書の要約(百万円)

自平成18年4月1日  
至平成18年9月30日

科 目	金 額
売 上 高	24,214
売 上 原 価	21,595
販売費及び一般管理費	1,467
営 業 利 益	1,151
営 業 外 収 益	88
営 業 外 費 用	187
経 常 利 益	1,051
特 別 利 益	1
特 別 損 失	17
税金等調整前中間純利益	1,034
法人税、住民税及び事業税	485
法人税等調整額	89
少数株主利益	1
中 間 純 利 益	637

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(百万円)

自平成18年4月1日 至平成18年9月30日

区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	970
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増加額	888
現金及び現金同等物の期首残高	3,163
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,051

## 中間連結株主資本等変動計算書(百万円)

自平成18年4月1日 至平成18年9月30日

	株 主 資 本					少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
平成18年3月31日残高	3,140	1,553	592	22	5,265		
中間連結会計期間中の変動額							
新株の発行	937	937			1,875		
中間純利益			637		637		
自己株式の取得				4	4		
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)							
中間連結会計期間中の変動額合計	937	937	637	4	2,507		
平成18年9月30日残高	4,078	2,491	1,230	26	7,773		
	評 価 ・ 換 算 差 額 等					少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	繰 延 ヘッジ損益	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	39	-	3,203	3	3,247	6	8,519
中間連結会計期間中の変動額							
新株の発行							1,875
中間純利益							637
自己株式の取得							4
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	7	0	-	2	5	2	3
中間連結会計期間中の変動額合計	7	0	-	2	5	2	2,504
平成18年9月30日残高	31	0	3,203	6	3,242	8	11,023

## 中間貸借対照表の要約〔百万円〕

平成18年9月30日現在

資 産 の 部		金 額
科 目		
<b>流 動 資 産</b>		26,589
現金及び預金		2,051
受取手形		1,528
売掛金		10,385
たな卸資産		9,268
信託受益権		2,534
その他の		831
貸倒引当金		10
<b>固 定 資 産</b>		16,549
<b>有形固定資産</b>		14,802
建物及び構築物		2,308
機械装置		5,227
土地		5,835
その他の		1,431
<b>無形固定資産</b>		25
<b>投資その他の資産</b>		1,720
投資有価証券		134
子会社株式		301
その他の		1,373
貸倒引当金		88
<b>資 産 合 計</b>		<b>43,139</b>

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 ..... 22,979 百万円

2. 保証債務 ..... 117 百万円

負 債 の 部		金 額
科 目		
<b>流 動 負 債</b>		20,398
支払手形		2,699
買掛金		6,716
短期借入金		7,474
未払金、未払法人税等		2,074
その他の		1,433
<b>固 定 負 債</b>		11,710
新株予約権付社債		1,125
長期借入金		5,698
再評価に係る繰延税金負債		2,109
退職給付引当金		2,461
その他の		316
<b>負 債 合 計</b>		<b>32,109</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>株 主 資 本</b>		7,793
資本金		4,078
資本剰余金		2,491
利益剰余金		1,250
自己株式		26
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>		<b>3,235</b>
<b>純 資 産 合 計</b>		<b>11,029</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>		<b>43,139</b>



### 中間損益計算書の要約(百万円)

自平成18年4月1日  
至平成18年9月30日

科 目	金 額
売 上 高	22,825
売 上 原 価	20,762
販売費及び一般管理費	1,260
営 業 利 益	802
営 業 外 収 益	113
営 業 外 費 用	187
経 常 利 益	728
特 別 利 益	0
特 別 損 失	17
税 引 前 中 間 純 利 益	711
法人税、住民税及び事業税	442
法人税等調整額	160
中 間 純 利 益	429

## COMPANY PROFILE

### 会社の概要

商 号	エンシュウ株式会社(英文 ENSHU Limited)
設 立	大正9年2月5日
資 本 金	40億7,835万円
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	59,729,689株
生 産 品 目	工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機

## BUSINESS ESTABLISHMENT

### 事業所

本社及び工場	〒432-8522 静岡県浜松市高塚町4888	電話 053-447-2111(代)
浜北工場	〒434-0016 静岡県浜松市根堅788	電話 053-588-0211(代)
営業部・支店		
営業部	〒434-0016 静岡県浜松市根堅788	電話 053-588-4771(代)
東京支店	〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15(スターハイツ)	電話 03-5479-1671(代)
大阪支店	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43(ファサード江坂ビル)	電話 06-6338-2471(代)
サービスステーション	/ 高崎・金沢・広島	
海外現地法人	ENSHU(USA) CORPORATION	(シカゴ)
	ENSHU GmbH	(フランクフルト郊外)
	ENSHU (Thailand) Limited	(バンコク)

IMTS 2006



欧州のEMO、東京のJIMTOFと並び世界三大工作機械見本市のひとつであるIMTS(通称シカゴショー)が、9月6日～13日、ミシガン湖畔のマコーミックプレイスで開催されました。

30カ国・地域から1,200社が出展、来場者も9万名を超えました。

当社からは、横形マシニングセンタ「JE80S」「JE50S」「JE30S」「R50H」、立形マシニングセンタ「ES400」の5機種6台を出展し、来場者から好評をいただきました。



横形マシニングセンタ JE80S



2006 自動車部品生産システム展



自動車部品製造の多様なソリューションに対応することを目的とした「2006自動車部品生産システム展」が、6月14日～17日東京ビッグサイトで開催されました。

230社7団体が出展し、会場は2万7千余名の多くの来場者で賑わいました。

当社からは高出力半導体レーザー溶接システム「L1」、高出力半導体レーザー樹脂溶着システム「LPJ」、半導体ファイバー出力型レーザー「L-Micro」の3台を出品し、来場者の注目を集めました。



高出力半導体レーザー溶接システム L1

## BOARD of DIRECTORS

役員

平成18年9月30日現在

取締役会長	寺田一彦
代表取締役社長	中安茂夫
常務取締役	千賀伸一
常務取締役	安田俊二
取締役	加茂只文
取締役	横山晴臣
取締役	中村泰之
取締役	小木国典
取締役	野田純孝
取締役	金原一也
常勤監査役	松山美廣
監査役	石塚尚
監査役	鈴木芳男
監査役	大隅安次



## MEMO

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主となります。
基準日	毎年3月31日、その他必要ある場合は、あらかじめ公告致します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
〔お問合わせ先〕	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)288-324(代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公告	電子公告 但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行う。
ホームページのご案内	<a href="http://www.enshu.co.jp/kessan/">http://www.enshu.co.jp/kessan/</a>
株式の上場	東京、名古屋 両証券取引所市場第一部



エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。  
エンシュウ株式会社 [http:// www.enshu.co.jp/](http://www.enshu.co.jp/)  
ENSHU(USA)CORPORATION [www.enshuusa.com](http://www.enshuusa.com)